防災マニュアル

1. 目的

本マニュアルは、地震・火災・風水害等の災害発生時に、利用児童および職員の安全を確保し、被害を最小限に抑えることを目的とする。

2. 基本方針

・児童の生命と安全を最優先とする
・災害発生時は、職員の指示のもと冷静に行動する
・日頃から防災意識を高め、備えを徹底する
・保護者および関係機関と連携し、適切に対応する

3. 想定される災害

本マニュアルでは、以下の災害を想定する。
・地震
・火災
・台風、大雨、洪水等の風水害
・その他、事業所運営に影響を及ぼす災害

4. 事前の防災対策

(1) 防災体制の整備

・防災に関する役割分担を明確にする
・避難経路および避難場所を事前に確認する

(2) 備品・設備の確認

・非常用持出品、防災備蓄品を整備する
・消火器等の防災設備の設置場所を把握する

(3) 児童への配慮

・年齢や特性に応じた防災指導を行う
・避難時の支援方法を事前に検討する

5. 地震発生時の対応

・揺れが収まるまで、机の下等で身を守る
・揺れが収まった後、職員の指示に従い避難する
・児童の人数確認を行う

6. 火災発生時の対応

・初期消火が可能な場合は対応する
・火災が拡大する恐れがある場合は、速やかに避難する
・煙を吸わないよう配慮し、低い姿勢で行動する

7. 風水害発生時の対応

・気象情報を常に確認する
・危険が予測される場合は、利用の中止や早期帰宅を検討する
・安全な場所で待機し、無理な外出を行わない

8. 避難時の対応

・職員は先導・後方確認を行い、児童から目を離さない
・避難場所で人数確認を行う
・二次災害に注意する

9. 保護者への連絡

・児童の安全状況を速やかに保護者へ連絡する
・引き渡し方法について、事前の取り決めに従う

10. 記録と報告

・災害対応の状況を記録する
・必要に応じて関係機関へ報告する

11. 防災訓練

・定期的に防災訓練を実施する
・訓練後は振り返りを行い、改善につなげる

12. 職員の役割

・防災マニュアルの内容を理解し、行動できるよう備える
・日常業務の中で防災意識を高める
・緊急時には落ち着いて行動する

13. 見直し・改善

・防災訓練や災害対応を踏まえ、定期的に見直しを行う
・地域や事業所の状況に応じて内容を更新する

２０２３年4月1日策定